



うつみ 久子

府政だより No.125 平成28年秋号

コスモス通信



発行者＝大阪府議会議員 内海久子 大東市野崎1-17-45-107 TEL: 072-812-2487 / FAX: 072-812-2894 <http://www.utsunihisako.com>

うつみ久子府議 9月定例本議会 女性の視点から5項目を質問 一般質問(10月6日本会議場にて)



「性暴力救援センター・大阪SACHICO」について

Q、病院拠点型ワンストップ支援センターとして実績のある大阪SACHICOに対する財政支援を行うべきではないかと考えるが、知事の所見を伺う。

A、性犯罪被害者に対する支援について、公民の適切な連携を基本に、しっかり取り組んで行く。

Q、「性暴力被害者支援ネットワーク」の効果的な周知啓発について。

A、SACHICOや協力医療機関など性暴力の被害者が安心して支援を受けられる場所の連絡先など、必要な情報をまとめ、スマートフォンなどから簡単に検索できるようにするなど、府民への周知啓発に努めていく。

府における肝炎対策について

Q、大阪府の肝炎・肝がんの現状は非常に厳しく、もっと広報していくべきだと思うが、健康医療部長の見解を伺う。

A、特に働く世代への検査受診を促進するため、保険者や労働関係機関との連携を進める。がん検診受診推進員の方々に、肝炎ウィルス検査の受診も勧めてもらう。

Q、二次医療圏ごとに少なくとも一つは協力医療機関が必要であると考えているが、如何か。

A、今年度、北河内、中河内の残りの2つの二次医療圏においても体制を構築するべく、協力医療機関への参画を働きかけているところであり、府内7つの二次医療圏全てをカバーするネットワーク構築を目指していく。



「子育て世代包括支援センター」の市町村支援について

Q、府は市町村が設置する子育て世代包括支援センターでの事業を推進するため、どう支援していくのか。



A、今年度の母子保健コーディネーター育成研修では、個別の支援計画作成手法や児童虐待予防対策をテーマにする予定。今後とも、積極的に市町村を支援してまいりたい。

食品ロスに向けた取組み

Q、平成29年度末に策定予定の府の食育推進計画の中に食品ロス削減を盛り込んでいくべきと考えるが、所見を伺う。

A、本府においても、食品ロス削減を含めた府の第3次計画について、関係部局と連携しながら、策定していく。

Q、大阪府においても、事業者との連携や府民への啓発により、食品ロスの削減を推進していこうとするなら、個々の部局が取り組みを進めるのではなく、全庁横断的な取り組みが必要であると考え、知事の所見を伺う。

A、全庁横断的なワーキングチームを設置するなどし、食品ロスを削減するための取組みを推進していく。



飯盛城跡国史跡指定に向けて

Q、飯盛城跡国史跡指定に向けた取組みの状況について伺う。大東市、四條畷市で国史跡指定にむけた調査が始まっているが進捗を伺う。

A、府教育庁としても、平成33年度の国史跡指定をめざし、両市の開催する指導委員会に参画し、現地調査の指導助言を行うとともに、文化庁への働きかけを行うなど、引き続き文化財の専門的、技術的な見地からの支援を行っていく。

